

第1回 ○○と語り合う会 ～半田の農業をよくするために～

事後レポート（令和5年6月19日）

初回の今回は、ゲストに市長を迎え、農家10人が参加しました。

参加農家は、自分自身の農業・商品の魅力や特徴を話し、興味のあることや悩みについてお互いに、質問し合い、語り合いました。



☆内容・意見→市の対応☆

・農家同士が知り合う機会がなかったが、参加者同士で圃場が近く、同じ地域で農業をしていた人たちが多く、驚き！

⇒ 今後も認定農業者や若手農家が交流する場を複数回つっていく。

・話をきくと、その人の商品や農産物を購入したいと思うけれど、どこで販売しているかわからず、半田では買うことができないことが多く、残念。

⇒ 今後は、定期的にマルシェの開催を予定。

また、市役所の売店で農産物を販売できないかと考え、売店事業者と意見交換し、販売できるよう進めていく予定。

・子どもに半田の農業や農作物を知ってほしい。給食に半田の農作物を使ってもらうことはできないのか。

⇒ JAとの意見交換では、小中学校の給食は、規格と求められる量をそろえて出荷する必要があるとのこと。

半田の農業では、量をそろえることが難しいものが多いと予想される。

また、幼稚園・保育園について幼児保育課に確認した。幼児への給食は、食べたことのある作物であればメニューのひとつに加えることは可能で、何をどのくらいの量・いつの時期に使うかがわかると、メニューをつくることは可能とのこと。市立の園から検討していきたい。

【ぶどう】
半田市唯一の
ぶどう農家です。
ゼロから農地を自分
で開拓し、令和5年夏
に初収穫です。

【水稲】
4年目です。
お米の感想を正直に
してもらうことで、
その後のモチベーション
になります。

【施設野菜（トマト）】
家族経営をしています。
先が少しとがっている
ような形のファースト
トマトが中心です。

【施設野菜（サンチュ）】
親世代から引き継ぎ経営し
ています。水耕栽培のため
年中収穫でき、苦味のない
食べやすいサンチュです。

【水稲・養鶏】
江戸時代から続く
農家の8代目です。
自身で、加工や販売も
行っています。
米粉やふところもち
などの商品があります。

【養鶏】
名古屋コーチンを中心に
放し飼いで育てています。
卵かけごはんを
なにもつけずに卵だけで
食べてみてほしいです。

【野菜】
子どもが野菜を
食べないなど
食に関する問題はた
くさんあります。
食の大切さを
伝えていきたいです。

【施設花き
（カーネーション）】
親世代から引き継いで
経営しています。
仏花としても人気で、JAや
ハウス前で直売しています。

【観葉植物（ハーブ）】
令和5年1月から
始めたばかりです。
ハッカ油など珍しいものを
育てています。

【養蜂】
蜂蜜だけでなく、
蜂を農家の方へ貸すこと
もあります。また、蜂蜜
のボトルは、使いやすい
工夫をしています。



参加農家のみなさん